

本気で学ぶ 丈夫で 心豊かな 本庄っ子

# ほんじょう



10月

令和4年度10月号  
三田市立本庄小学校

「今月のほんじょう」はNo.27まで掲載中 上のQRコードをご利用ください。

## 児童・保護者アンケートの状況から

校長 藤田 洋子

まずは、7月に行いましたアンケートに関して、ほとんどのみなさまに回答の提出をしていただきましたことに感謝申し上げます。

学校生活については、児童・保護者共に「楽しく学校に通っている」の項目で高評価となっており、新学年になってから良いスタートを切ることができたと考えています。少数意見にもきちんと目を向け、よりよい学校生活が送れるよう取り組んでまいります。児童と保護者の捉えの差が大きい項目に、「時間や決まりを守る」「物を大切に使う」「ゲームや動画、インターネットを使うときの約束を守る」「掃除を一生懸命にする（保護者アンケートは家でお手伝いをする）」がありました。特に、「家でお手伝いをする」の項目で、「している」と回答された方は52%で、他の項目に比べても20ポイント近く低くなっていました。学校の中での役割については一生懸命に取り組めても、家庭での役割についてはなかなか意識して取り組むことができていないのではないかと考えられます。お手伝いは、家族の一員としての役割です。簡単なことから少しずつ責任のある内容へと、お子様の状況に応じて取り組むことができないかと考えています。「自分が誰かの役に立っている」ということを実感し得られることができる「自己有用感」はいずれ社会に出ていくにあたりとても大切なものです。大人の手の方が早いからとか、子どもではうまくできないからとさせないのではなく、「何か一役させてみる」ことが大切です。そして、取り組んだ時には必ず「ありがとう、助かったよ」と褒めることが大切です。「小さなことから少しずつ」始めてみませんか。今月から各学年で、お手伝いプロジェクトとしても取り組んでいきます。詳しくは、各学年の通信でご確認ください。

学習については、「楽しく取り組んでいる」や「よくわかっている」で高評価となっていました。しかし、保護者の自由記述には反復練習の必要な内容の定着に不安を感じる様子が見られます。また、「自分から進んで宿題や自主学習に取り組む」の項目は児童・保護者共に低評価でした。定番の漢字練習や計算ドリル、本読みだけでなく、自分が取り組みたいもの、より伸ばしたいことを選び、進んで学習する習慣を身につけるために、「自主学習」を全学年で取り組んでいきます。すでに始めている学年もありますが、何をしようかと迷っていたら、「こんなことをしてみたら？」と声をかけていただけると大変ありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

## 自然学校第3弾 in 竹野(5年生)

竹野海岸で行った2泊3日の自然学校。初めての宿泊に、みな気分が高揚しているようでした。活動内容は、スノーケル、磯の生き物観察、魚釣り、塩作り、キャンファイヤー、シーカヤック、海水浴その他と本当に盛りだくさんです。今回、「あり」こと富岡有宏さん、「ショーン」こと五十嵐夕音さんのお二人に指導補助員として、青木洋子さんには医療員としてご協力いただきました。おかげで3日間、体調を崩すこともなく、思う存分竹野の自然を満喫してきました。

同行して最も緊張したのが、シーカヤックに乗って大海原に漕ぎ出した時です。初めのうちは、波の立たない内海での練習でしたが、次第に沖の方へと離れていきました。先導するカヤックの後を一生懸命ついていこうとしているのが遠くからでも分かりました。しばらくすると、波けしブロックと岩場の隙間から、

一艘、一艘、姿が見えなくなります。そして、全ての姿が見えなくなりました。誰もいなくなった海を見て、「無事に帰ってきて！」と祈りました。どのくらいの時間がたったでしょう。外海に抜けていった波けしブロックの反対側から次々と帰ってくるのが見えました。思わず「帰ってきた〜！」と叫んでいました。指導して下さっていた服部さんによると、外海では大きな波がうねっていたそうです。中途半端に小さい波の時は波がぶつかり合いかえって横倒しになりやすいとか。大きな波の方が安全で、うねりに任せて進むということでした。誰一人倒れることなく帰ってきました。途中で下りて岩場上がり、海中観察も楽しみました。岩場からジャンプして足のつかない海に飛び降りたりもしました。活動を終え戻ってきた子どもたちの顔には少し疲れも見えましたが「楽しかった！」と、とてもいい笑顔でした。

自然学校ではただ体験をするだけではありません。親元を離れ、自分たちで食事の準備をしたり片付けたりすること、身辺整理して持ち物の管理をすること、お世話になった方に対して適切な言葉を選んで話すこと、友だちと協力すること、周りを見て行動することなど、多岐にわたった取り組みです。失敗してもあきらめず、一つひとつ行っていくことが自立につながります。まだまだ未熟な5年生ですが、それでも、今回の経験が自信となり、この本庄小学校を引っ張っていくリーダーとして成長してくれるものと信じています。

今回の自然学校は民宿きらくの皆さんや竹野子ども体験村、漁協の方など、大変多くの皆さんに支えていただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。

## 稲刈り(幼・全校生)

9月12日、秋晴れの下、全校生で稲刈りをしました。

5月に植えた苗は見事に大きくなり、たくさんの稲穂を垂らしていました。3年生以上で鎌を使って刈り取り、幼稚園から2年生までは落穂ひろいをしたり、束ねた稲を稲木まで運んだりしました。昔ながらの手作業です。自然学校で行った火おこしもそうですが、機械に頼らない自然の力を利用することは、当たり前にならなくなった私たちの生活を見直す機会になっているように感じます。このような貴重な体験ができることを本当にうれしく思います。脱穀の様子は「今月のほんじょう」をご覧ください。

## 市内めぐり(3・4年生)

9月15日に永澤寺、子ども未来製作所、ウチヌキに行きました。残暑の厳しい日でしたが、久しぶりの校外学習ということもあり出発前の子どもたちはワクワクしているのが手に取るように分かりました。永澤寺ではご住職のお話から歴史を感じました。写真は、大人は出入り禁止の子ども未来製作所です。バウムクーヘンが作られる様子を見学したり、用意してきたお金で買い物体験をしたりしました。パンチングメタル工場のウチヌキでは、一人ひとりが星形にパンチしたキーホルダーの製作体験をしました。今多くの3・4年生がランドセルにつけています。この日のために準備して下さった皆さまに感謝です。

## 音楽会練習スタート(全校生)

10月29日(土)の音楽会開催に向けて、練習が始まっています。10月7日には楽器を体育館に運び入れ、翌週から体育館練習がスタートです。今年は3年ぶりに合唱を行います。感染対策をしながらの取り組みですし、声の出し方(頭声発声)が難しく、歌声というにはほど遠いかもしれませんが、子どもたち全員で体育館いっぱい歌声を響かせようと頑張ります。家でもリコーダーや鍵盤ハーモニカの練習をしたいと思います。本番に向けて励ましの言葉かけをぜひお願いいたします。

